Minebea

決算説明会

2012年3月期第2四半期

2011年11月2日
ミネベア株式会社

１．業績の説明

２．経営方針と事業戦略

業績の説明

取締役 専務執行役員　　加藤木 洋治

上半期連結業績ハイライト

東日本大震災、レアアース高騰、円高、新工場立上げ費用などで減収減益

（百万円）	2011年3月期 上半期	2012年3月期 上半期	前年同期比 伸び率	2012年3月期 上半期 期初計画
売上高	137,695	132,448	-3.8%	135,000 ～123,000
営業利益	12,371	6,052	-51.1%	9,700 ～8,100
経常利益	11,536	5,032	-56.4%	8,700 ～7,100
純利益	7,317	2,769	-62.2%	4,400 ～3,300
一株当たり純利益（円）	19.15	7.30	-61.9%	11.60 ～8.70

為替レート	11/3期上半期	12/3期上半期	12/3期上半期 想定
US$	89.70円	80.24円	84.00円
ユーロ	114.92円	115.76円	111.00円
タイバーツ	2.78円	2.66円	2.80円
人民元	13.17円	12.38円	12.60円

2Q連結業績ハイライト

**レアアース高騰によるマイナス影響はあったものの、東日本大震災による
サプライチェーン混乱からの回復などにより、前四半期比で増収増益**

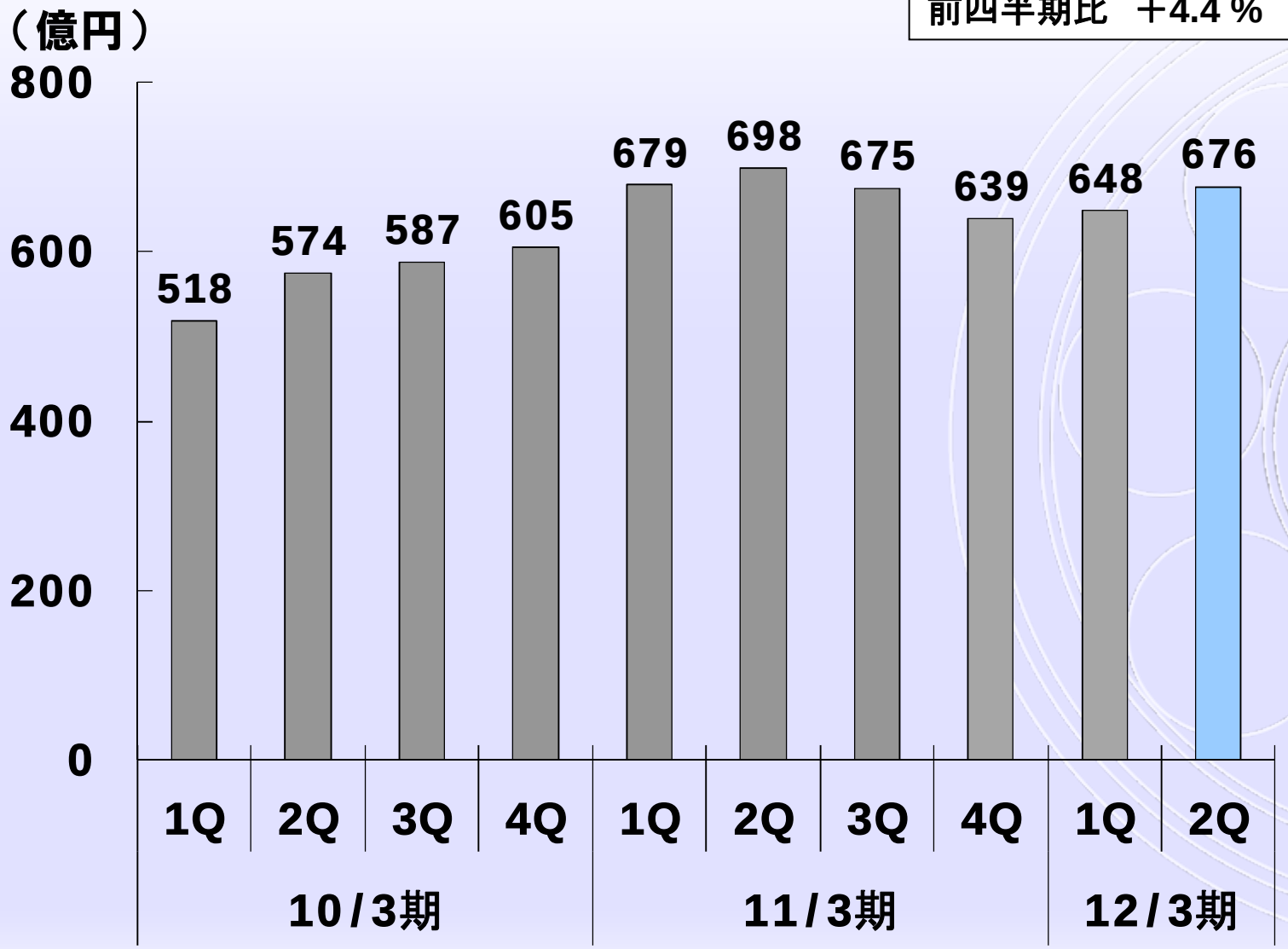
（百万円）	2011年3月期	2012年3月期		前年同期比	前四半期比
	2Q	1Q	2Q	伸び率	伸び率
売上高	69,803	64,802	67,646	-3.1%	+4.4%
営業利益	6,346	2,303	3,749	-40.9%	+62.8%
経常利益	5,935	1,870	3,162	-46.7%	+69.1%
四半期純利益	3,502	668	2,100	-40.0%	3.1倍
一株当たり四半期純利益（円）	9.16	1.76	5.56	-39.3%	3.2倍

為替レート	11/3期2Q	12/3期1Q	12/3期2Q
US$	86.58円	82.04円	78.44円
ユーロ	109.31円	118.54円	112.98円
タイバーツ	2.70円	2.72円	2.59円
人民元	12.73円	12.57円	12.18円

売上高

四半期推移

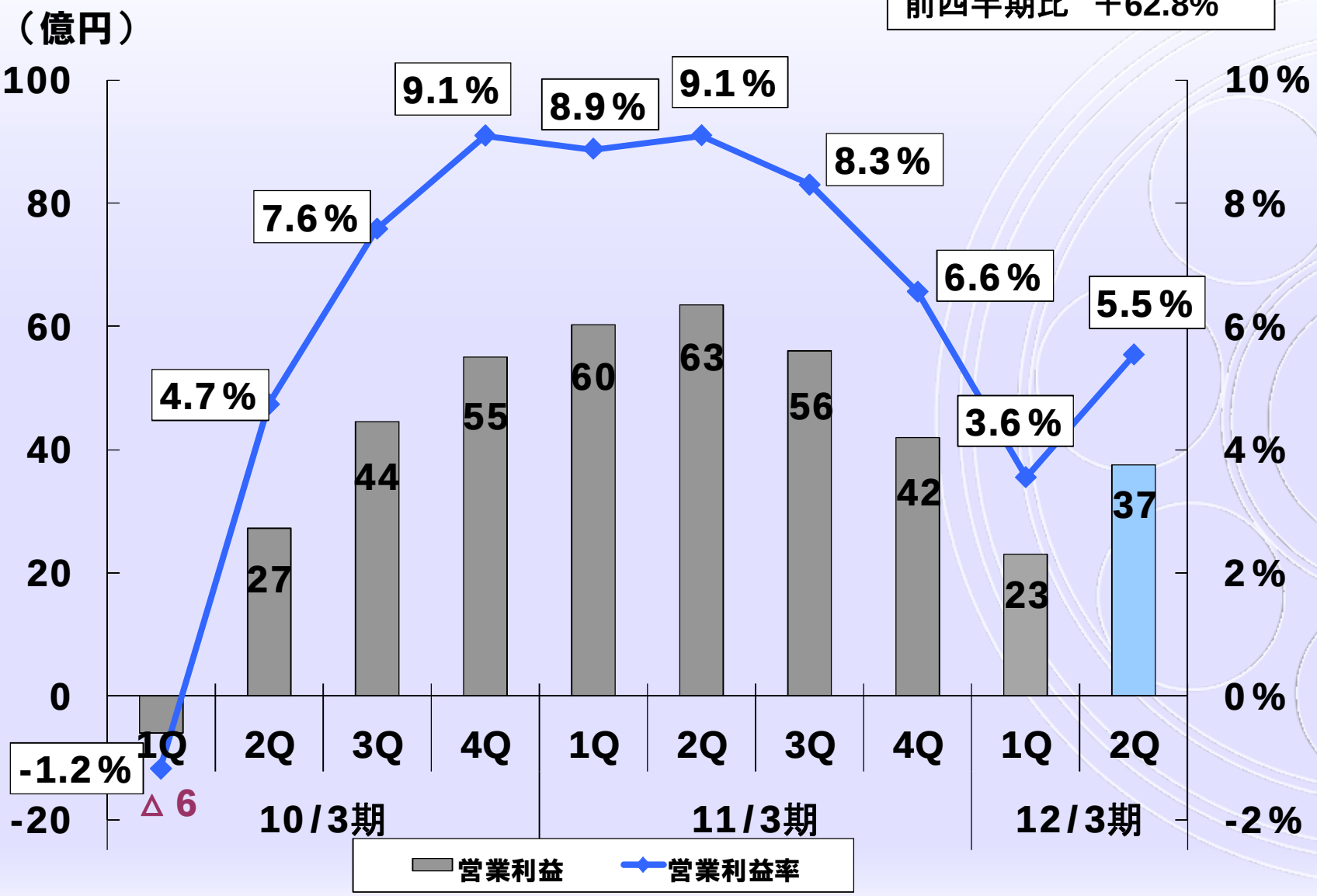
前年同期比　－3.1％
前四半期比　＋4.4％



営業利益

四半期推移

前年同期比　－40.9％
前四半期比　＋62.8%



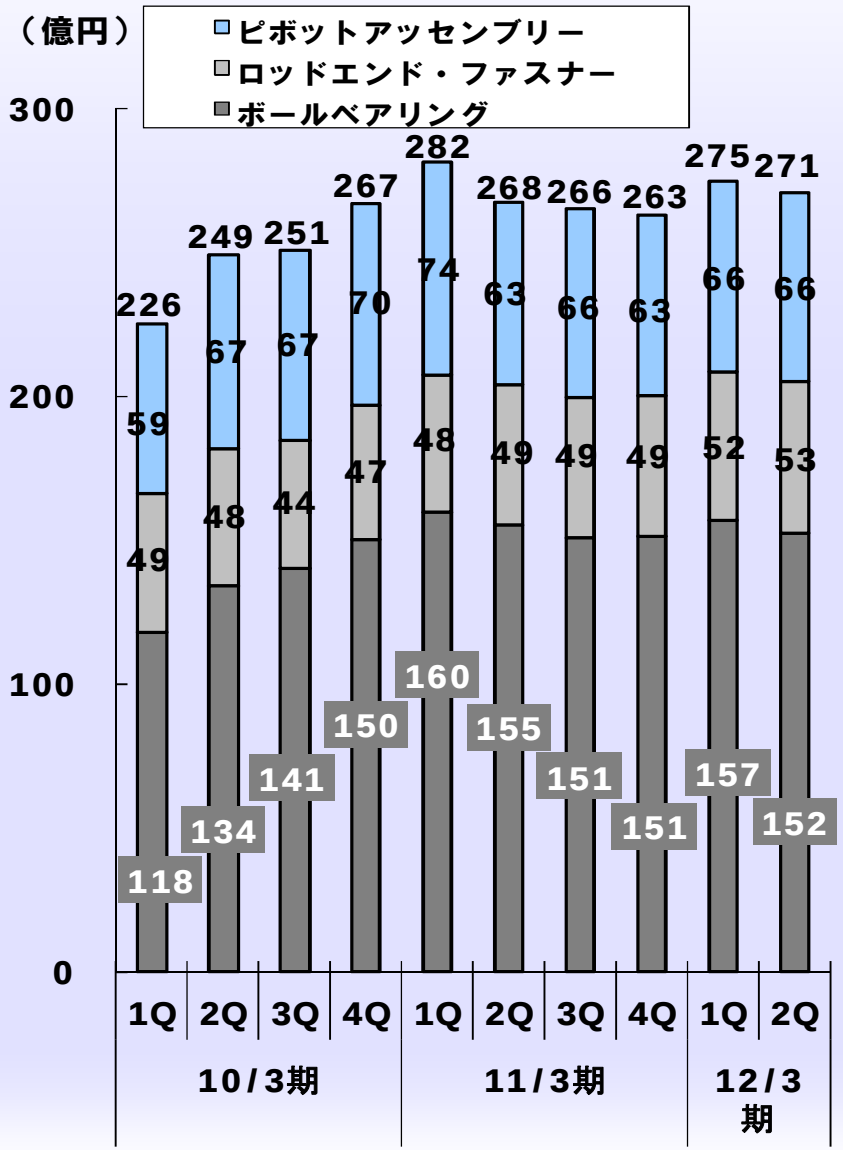
機械加工品事業

セグメント別

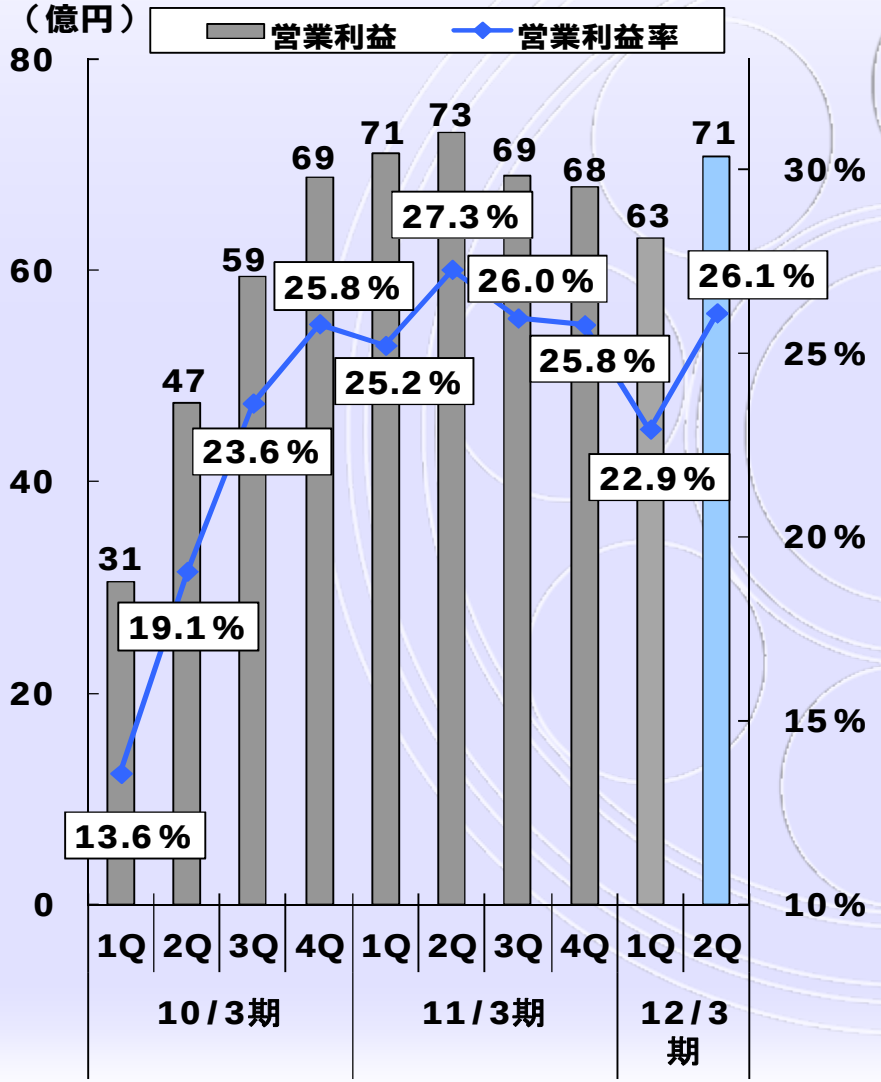
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高



営業利益



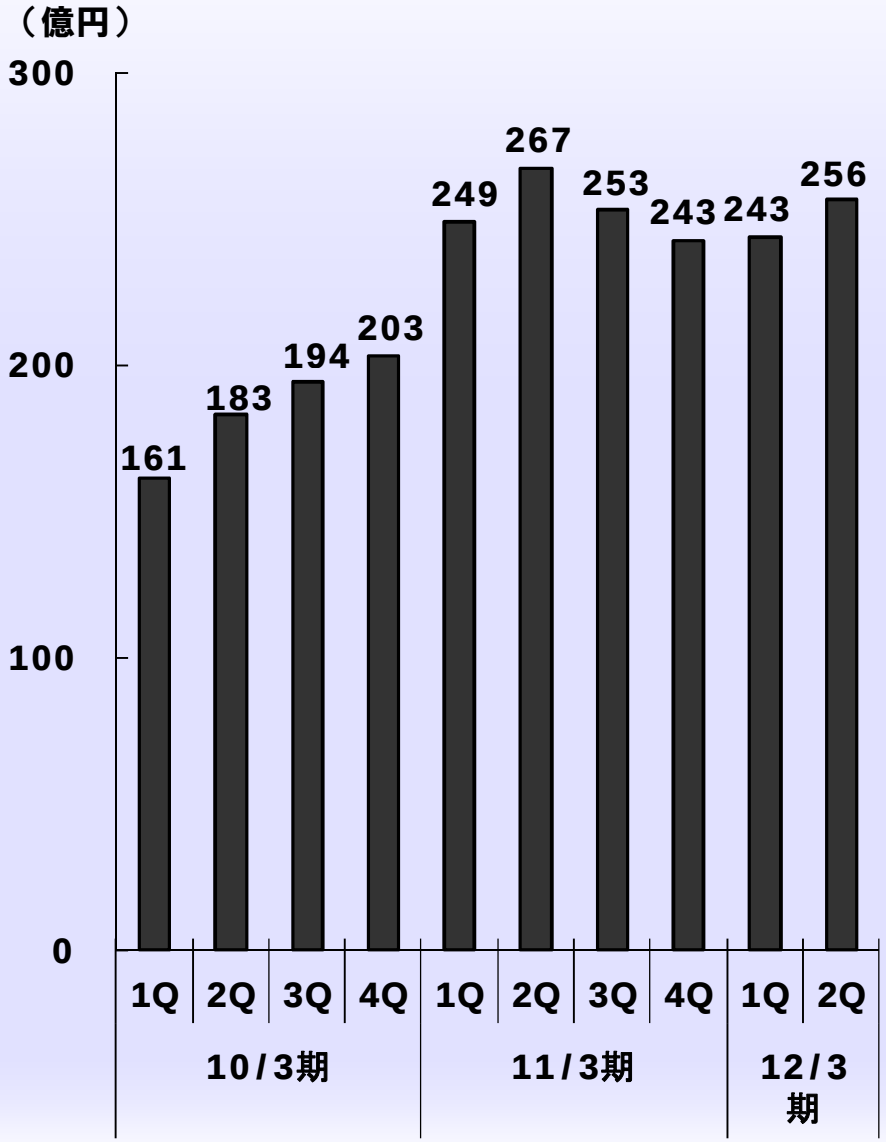
回転機器事業

セグメント別

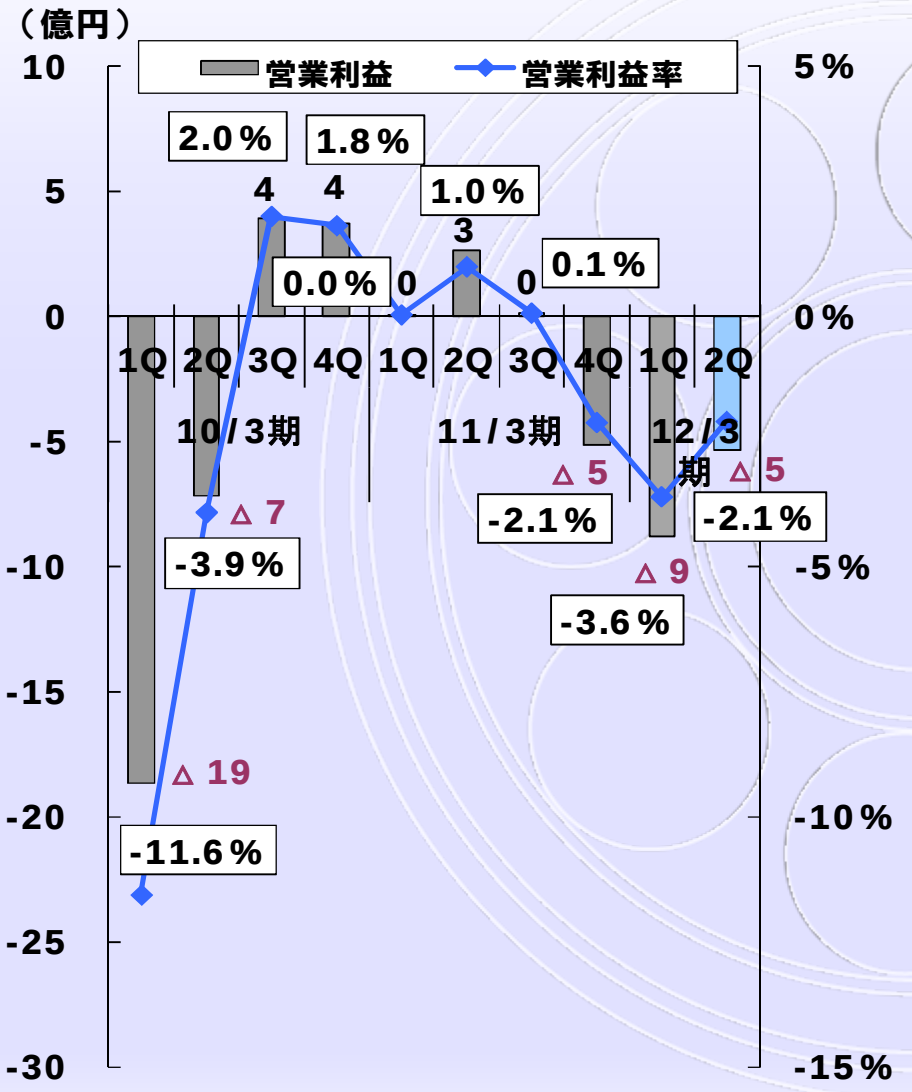
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高



営業利益



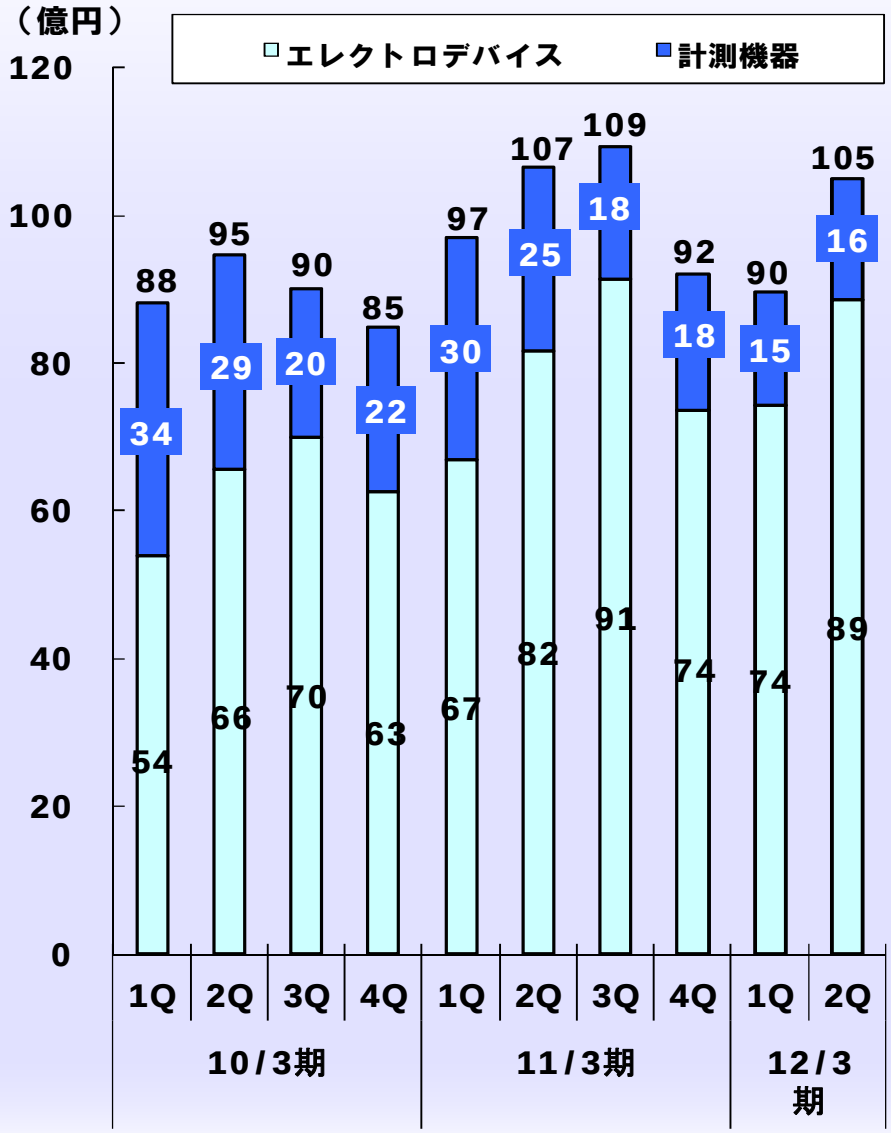
電子機器事業

セグメント別

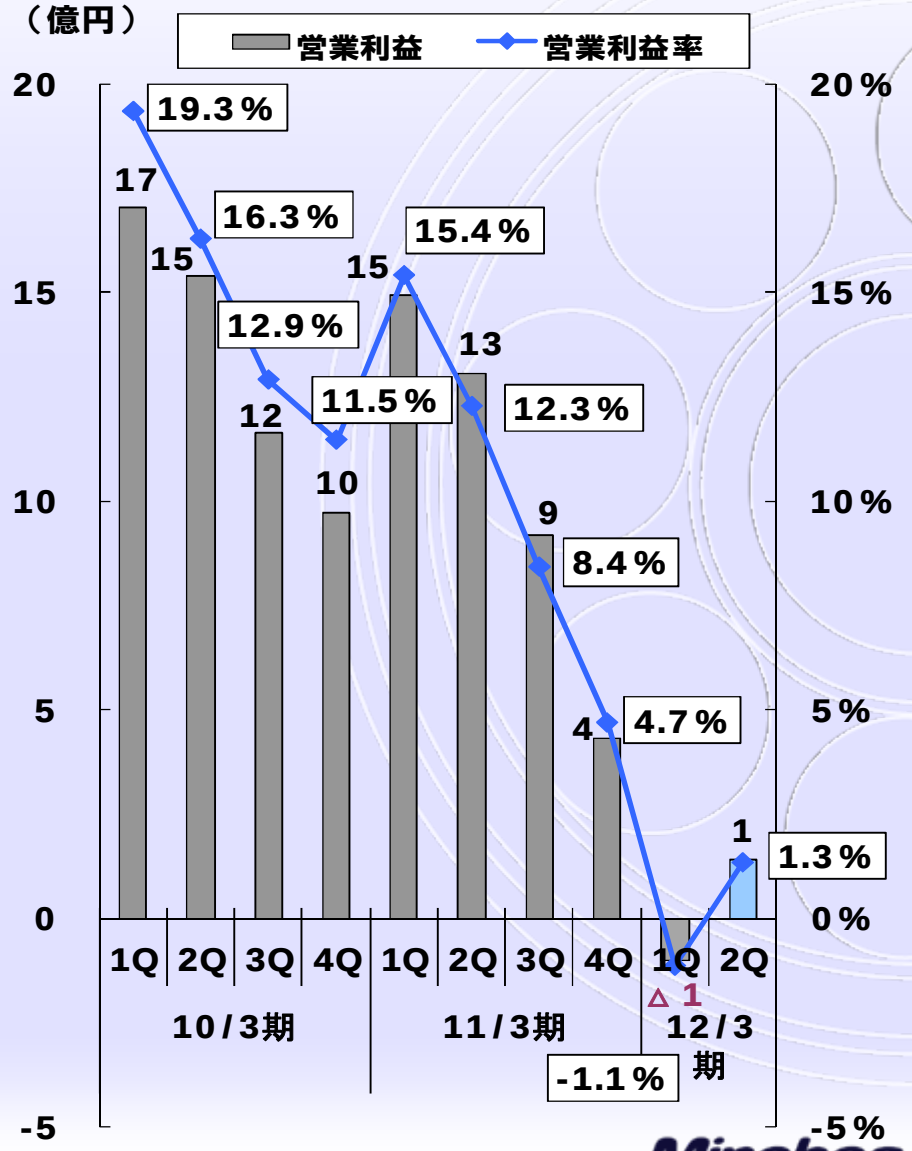
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高



営業利益



2011年11月2日

Minebea

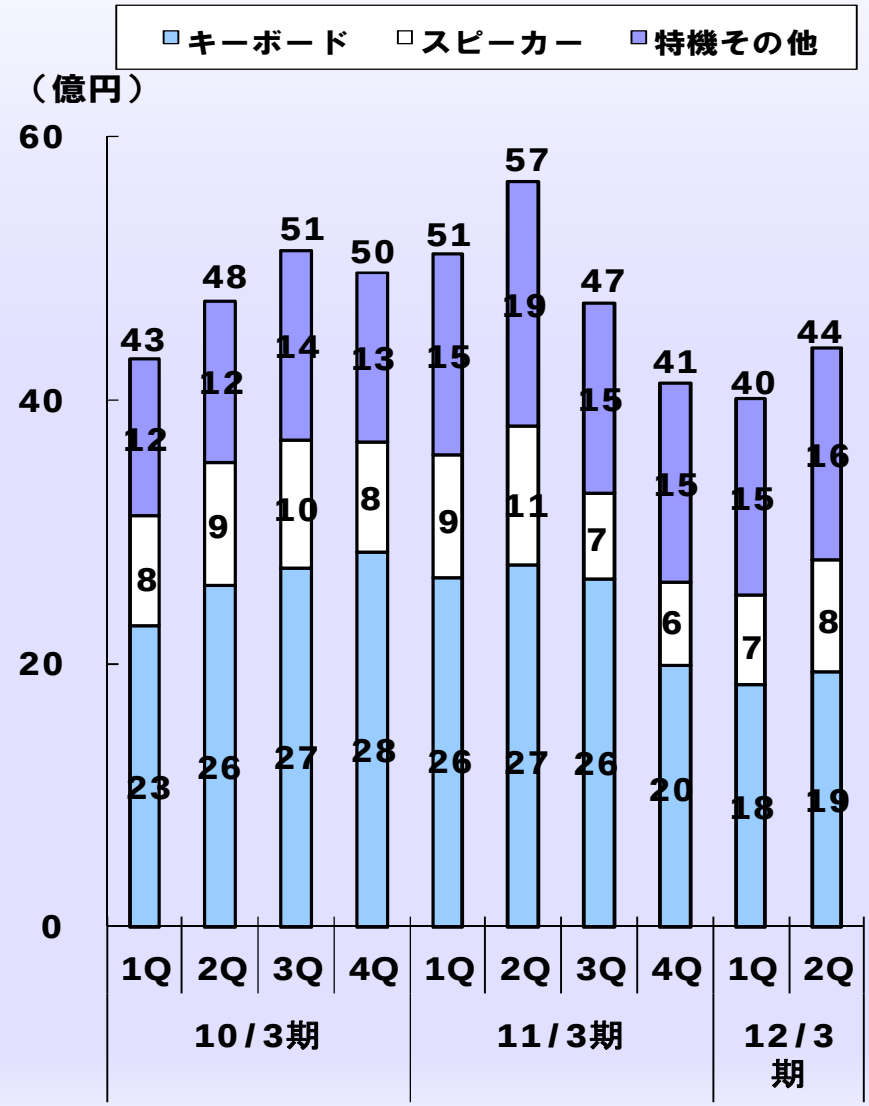
その他事業

セグメント別

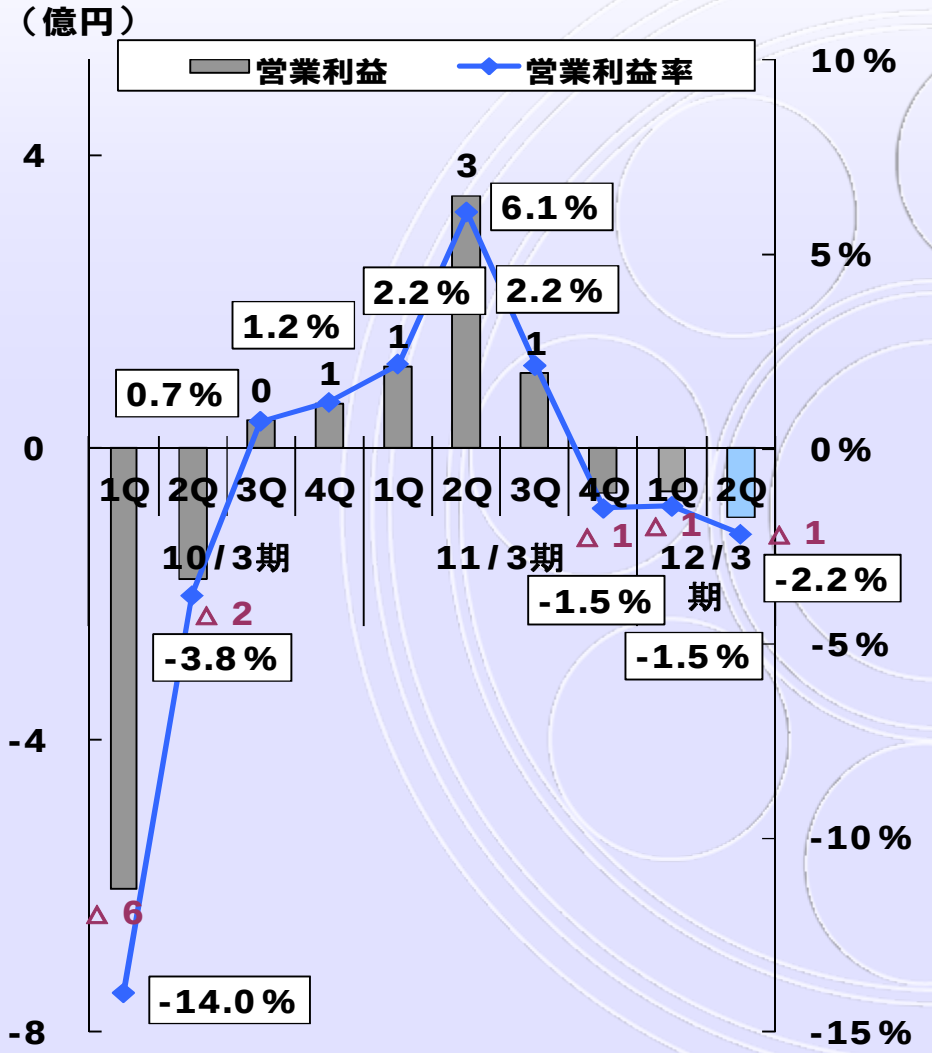
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高

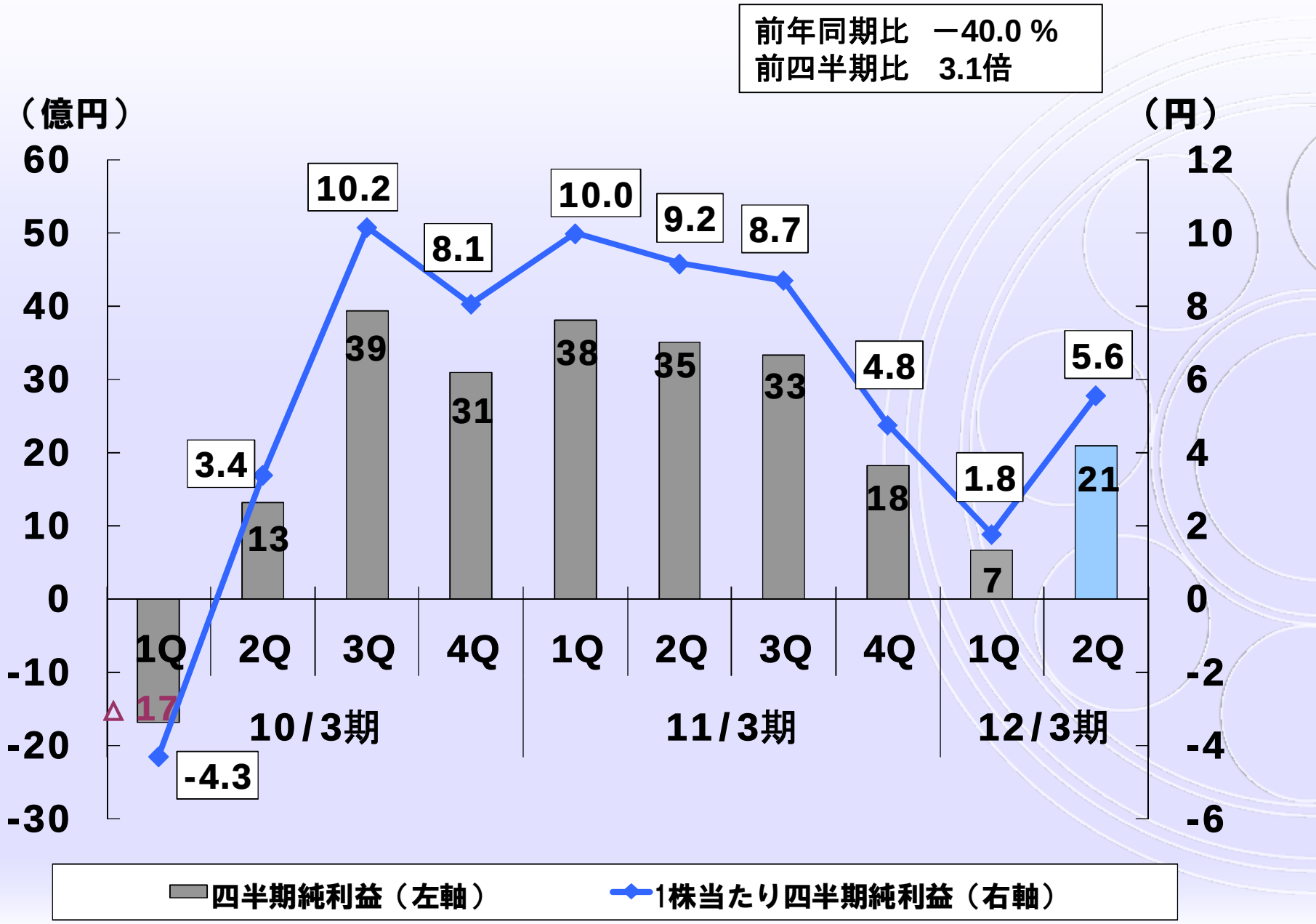


営業利益



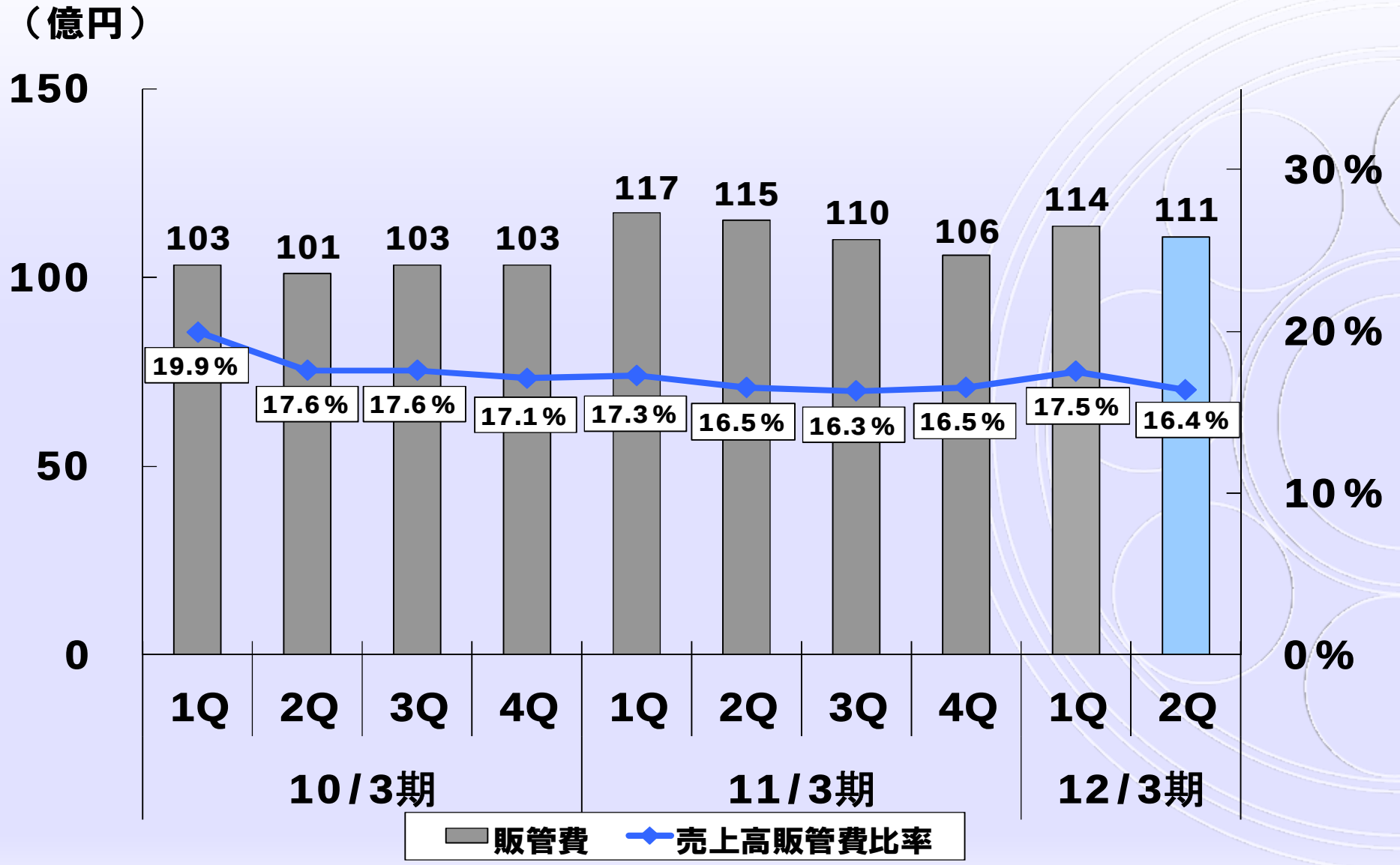
純利益

四半期推移


前年同期比　－40.0 %
前四半期比　3.1倍
（億円）
（円）
60
50
40
30
20
10
0
-10
-20
-30
12
10
8
6
4
2
0
-2
-4
-6
△17
13
39
31
38
35
33
18
7
21
3.4
10.2
8.1
10.0
9.2
8.7
4.8
1.8
5.6
-4.3
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
10/3期
11/3期
12/3期
四半期純利益（左軸）
1株当たり四半期純利益（右軸）

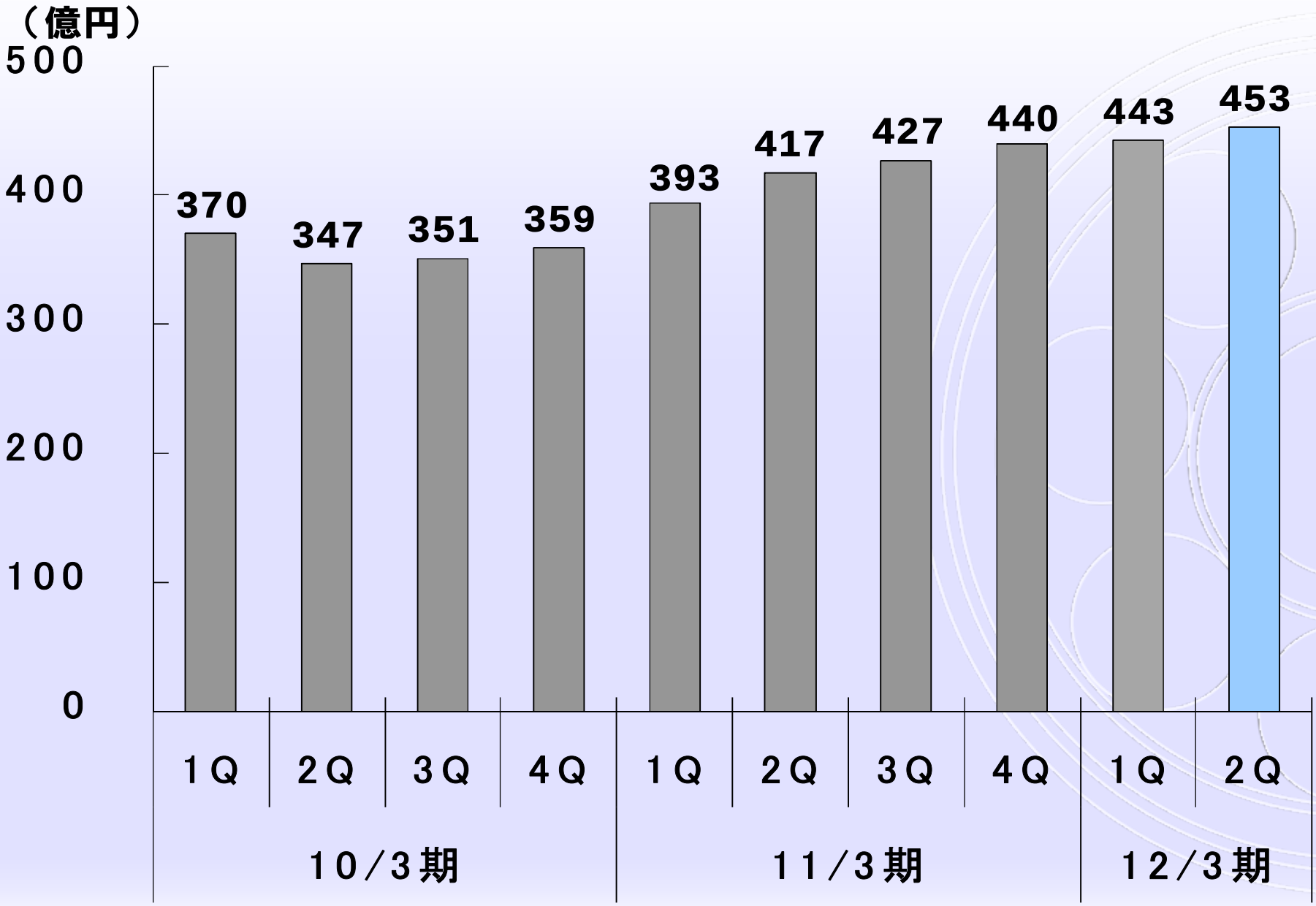
販管費

四半期推移


（億円）
150
100
50
0
30％
20％
10％
0％
103
101
103
103
117
115
110
106
114
111
19.9％
17.6％
17.6％
17.1％
17.3％
16.5％
16.3％
16.5％
17.5％
16.4％
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
10/3期
11/3期
12/3期
販管費
売上高販管費比率

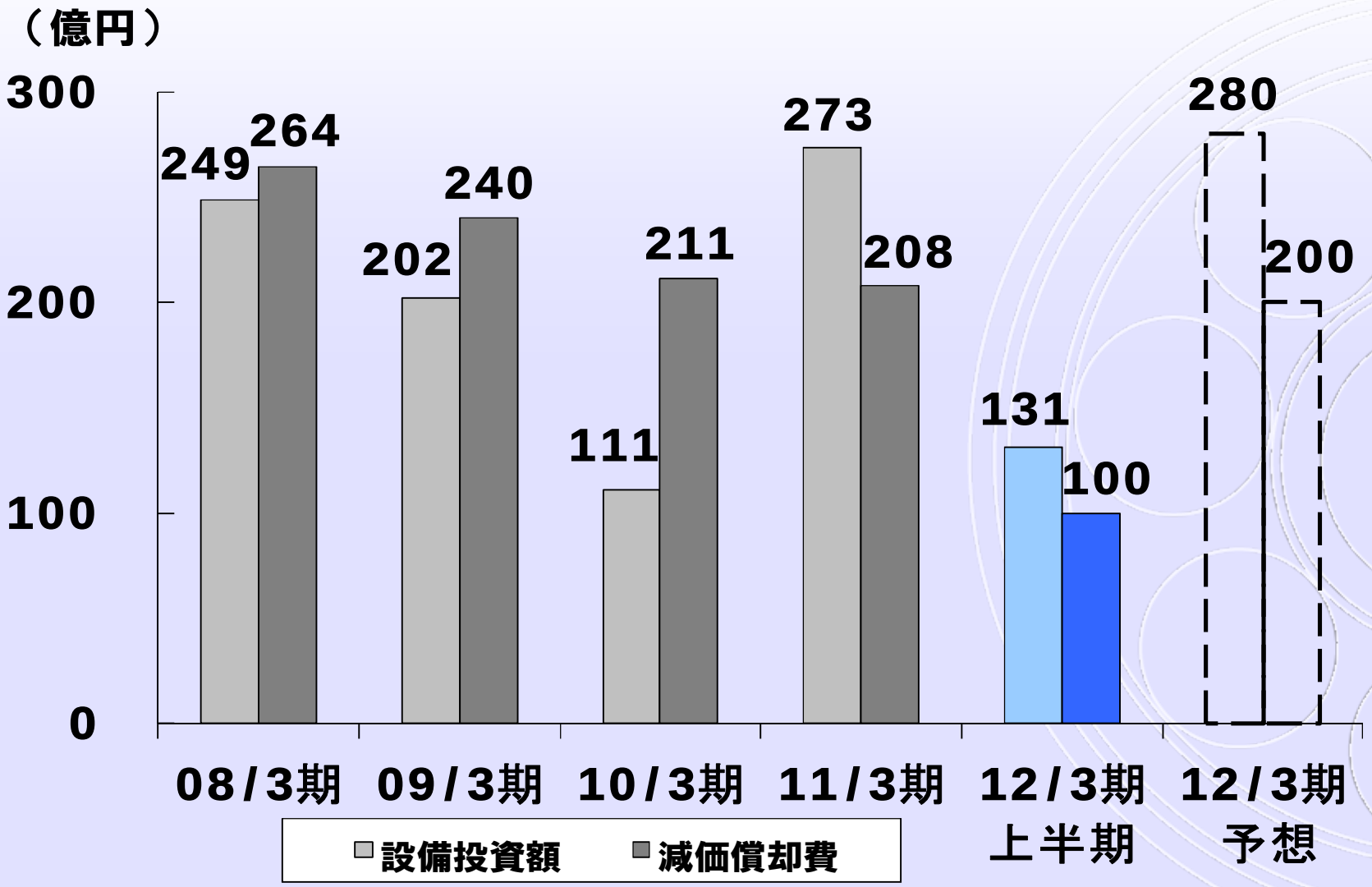
たな卸資産

四半期推移


（億円）
500
400
300
200
100
0
370
347
351
359
393
417
427
440
443
453
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
10/3期
11/3期
12/3期

設備投資額・減価償却費

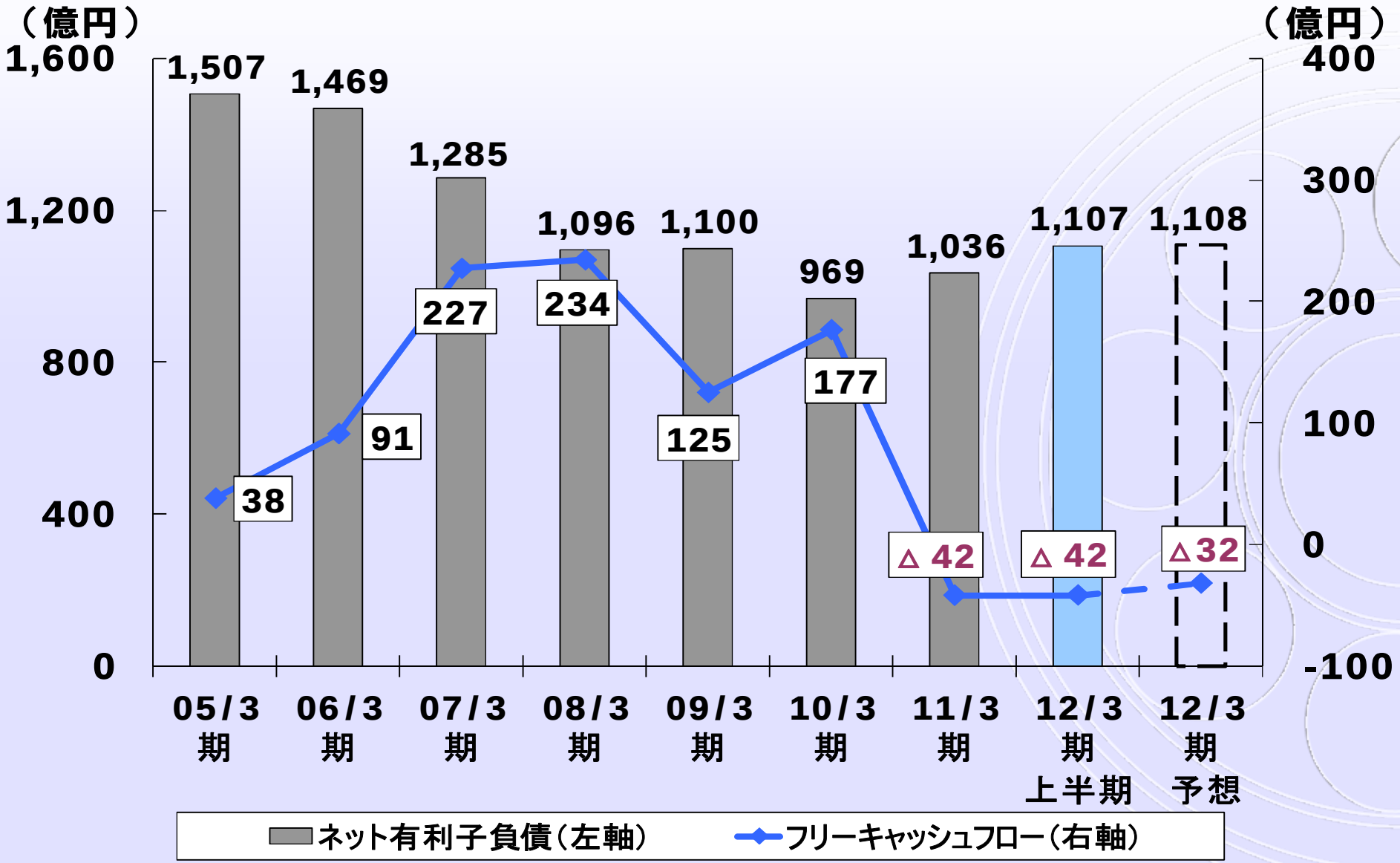
年推移



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

ネット有利子負債

年推移



ネット有利子負債　：　有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー　：　営業活動CF＋投資活動CF

業績予想

世界景気の減速、為替変動、レアアース高騰、タイの洪水影響等を受け、業績予想を下方修正

（百万円）	2011年3月期	2012年3月期				2012年3月期 従来計画	
	通期	上半期	下半期 修正予想	通期 修正予想	通期予想 前期比	下半期	通期
売上高	269,139	132,448	130,552	263,000	-2.3%	150,000 ～137,000	285,000 ～260,000
営業利益	22,163	6,052	5,948	12,000	-45.9%	14,800 ～12,900	24,500 ～21,000
経常利益	20,364	5,032	4,968	10,000	-50.9%	13,800 ～11,900	22,500 ～19,000
純利益	12,465	2,769	2,231	5,000	-59.9%	8,600 ～7,700	13,000 ～11,000
一株当たり純利益（円）	32.61	7.30	5.90	13.20	-59.5%	22.74 ～20.36	34.34 ～29.06

為替レート	11/3期 通期	12/3期 上半期	12/3期 下半期想定	12/3期 通期想定	12/3期下半期 従来想定	12/3期通期 従来想定
US$	86.04円	80.24円	76.00円	78.12円	84.00円	84.00円
ユーロ	113.22円	115.76円	104.00円	109.88円	111.00円	111.00円
タイバーツ	2.75円	2.66円	2.45円	2.56円	2.80円	2.80円
人民元	12.78円	12.38円	12.00円	12.19円	12.60円	12.60円

セグメント別業績予想

（百万円）	2011年3月期 通期	2012年3月期 上半期	2012年3月期 下半期 修正予想	2012年3月期 通期 修正予想	通期予想 前期比
売上高	269,139	132,448	130,552	263,000	-2.3%
機械加工品	107,841	54,603	52,097	106,700	-1.1%
回転機器	101,139	49,980	49,320	99,300	-1.8%
電子機器	40,502	19,457	24,143	43,600	+7.6%
その他	19,657	8,407	4,993	13,400	-31.8%
営業利益	22,163	6,052	5,948	12,000	-45.9%
機械加工品	28,088	13,378	13,022	26,400	-6.0%
回転機器	△224	△1,417	△1,683	△3,100	-
電子機器	4,160	38	862	900	-78.4%
その他	498	△156	△344	△500	-
調整額	△10,358	△5,789	△5,911	△11,700	-

Minebea

経営方針と事業戦略について

2011年 11月 2日

代表取締役 社長執行役員　貝沼　由久

2012年3月期上半期業績
計画未達の原因

上半期業績計画未達の主な原因

大震災影響は予想より大

・ボールベアリングの一時的製品ミックス悪化
・LEDバックライトの資材調達難に伴う赤字転落と回復の遅れ
・OA機器向け各種モーターの販売不振等

想定を超えるレアアースの高騰のため、
回転機器事業全般の改善遅れ

売上は計画上限近くに届いたものの、
営業利益は計画下限に未達

回転機器事業の損益悪化要因

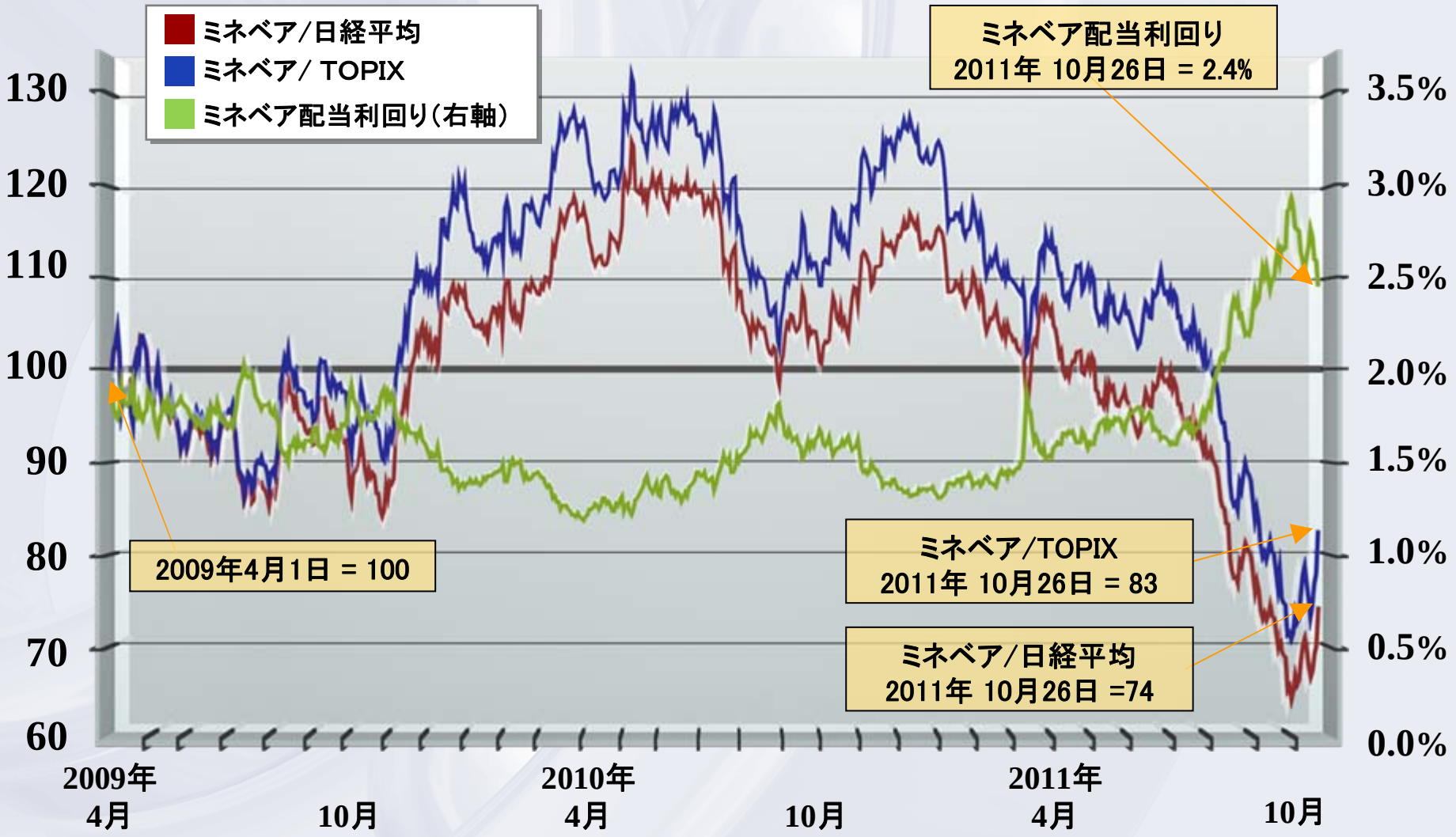
- 大震災の影響
- 人件費の上昇
- レアアース等
原材料費の高騰
- 為替環境の悪化



- HDDスピンドルモーター
- ファンモーター
- 振動モーター
- マイクロアクチュエータ
- DCブラシ付モーター
- DCブラシレスモーター
- 精密モーター

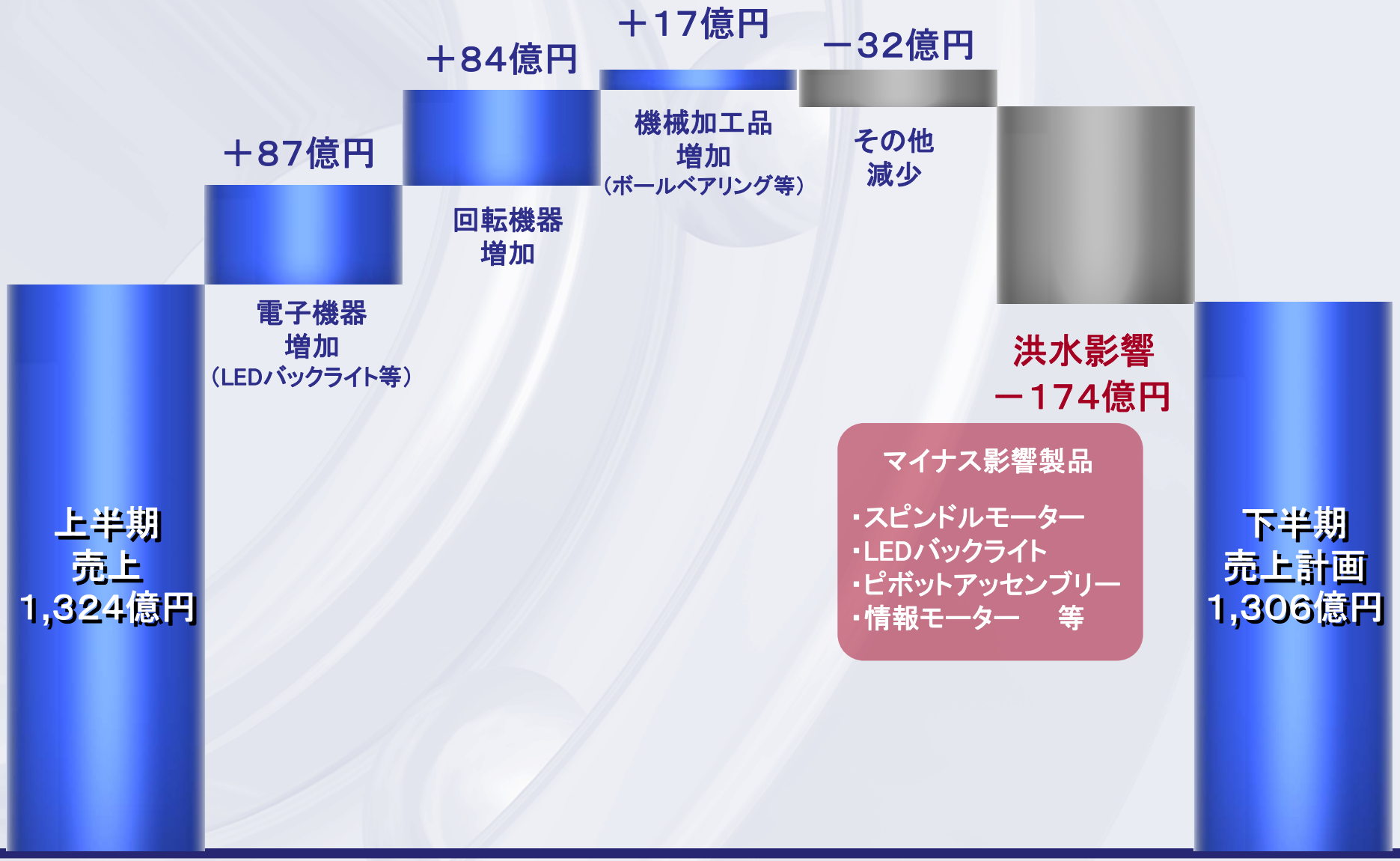
相対株価パーフォーマンス

2009年4月1日～2011年10月26日

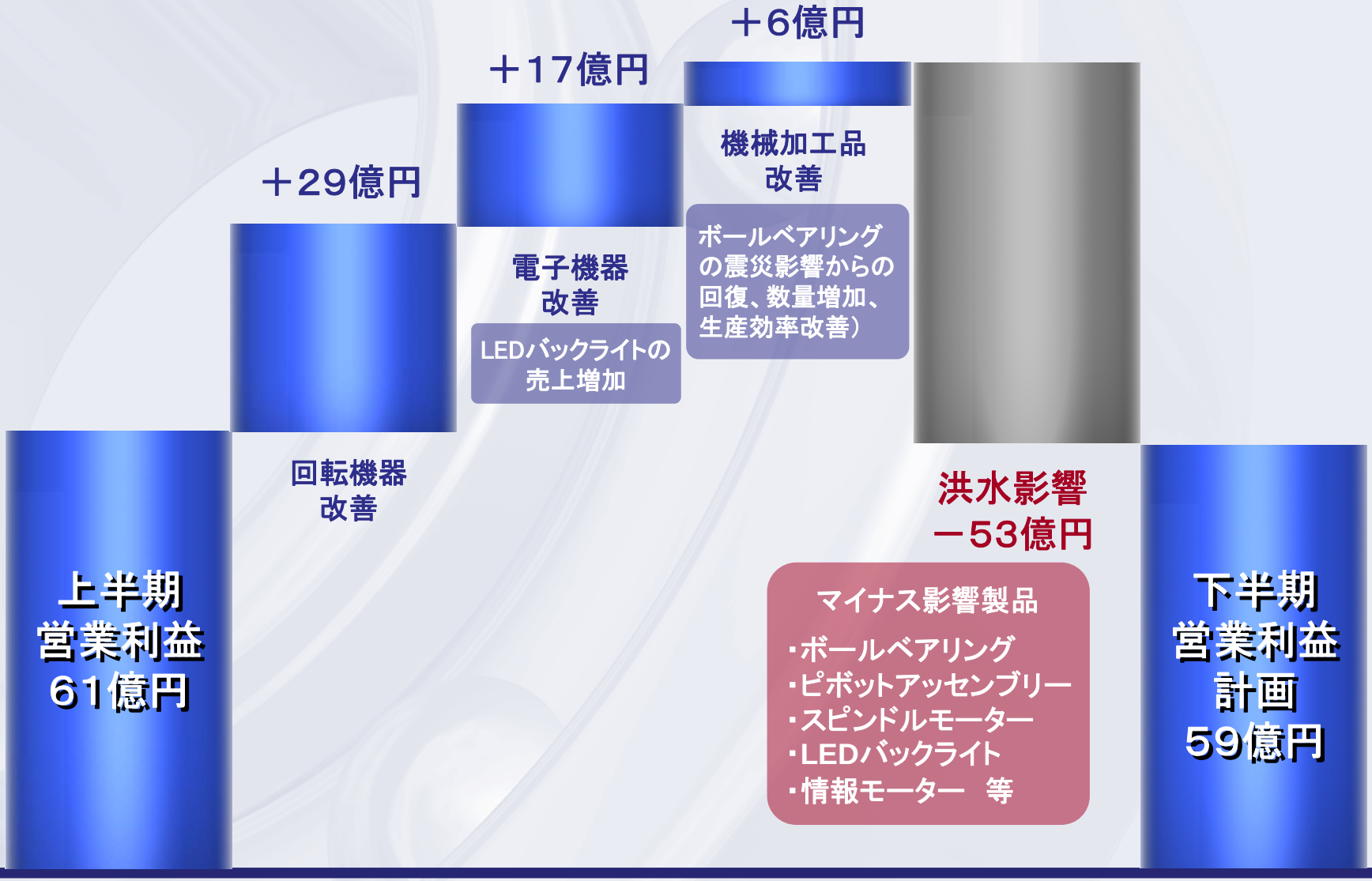


下半期売上と営業利益の変動要因

下半期売上の変動要因


上半期
売上
1,324億円
＋87億円
電子機器
増加
（LEDバックライト等）
＋84億円
回転機器
増加
＋17億円
機械加工品
増加
（ボールベアリング等）
－32億円
その他
減少
洪水影響
－174億円
マイナス影響製品
・スピンドルモーター
・LEDバックライト
・ピボットアッセンブリー
・情報モーター　等
下半期
売上計画
1,306億円

下半期営業利益の変動要因



回転機器事業営業利益改善の背景

回転機器の改善で、＋29億円

HDDスピンドルモーター	2Qに黒字化達成、さらに収益改善目指す
ファンモーター	特定赤字モデルの減少
精密モーター	国内自動車生産の回復とともに、完全黒字化へ
DCブラシ付モーター	カンボジア生産の増加によるコスト削減効果
マイクロアクチュエータ	カンボジア生産の増加によるコスト削減効果

タイでの洪水被害影響（1）

ロッブリ工場	被害なし	通常稼動　通常出勤
アユタヤ工場	被害なし	通常稼動　出勤率80%
バンパイン工場	被害なし	通常稼動　出勤率60%
ロジャナ工場 （HDDモーターベースプレート製造）	浸水被害有り	操業再開時期未定
ナワナコン工場 （HDDモーター機械加工部品製造）	浸水するも床上28cm程度 （2011年10月28日現在）	操業再開に向け作業開始



タイ
バンパイン工場

タイでの洪水被害影響（2）

損益影響予想

●売上は約174億円のマイナス影響を予想
●営業利益は約53億円のマイナス影響を予想

◎損害保険により、直接の洪水被害（更新価格）はカバーできる見通し
◎工場の空きスペースを利用した新しいビジネスの発掘



タイ
アユタヤ工場

下半期および来期に向けての施策

来期に向けての準備

ボールベアリング

バンパイン新工場（タイ）
- ピボット向け拡大
- 中国市場向け製品

マイオニック新工場（ドイツ）
- 生産効率改善と能力拡大

ロッドエンド・回転機器 LEDバックライト

ロッブリ新工場（タイ）
- 航空機市場の拡大と新型機納入開始
- スマートフォン市場拡大への対応

回転機器

カンボジア自社工場（カンボジア）
- アジア人件費高騰への対処

LEDバックライト

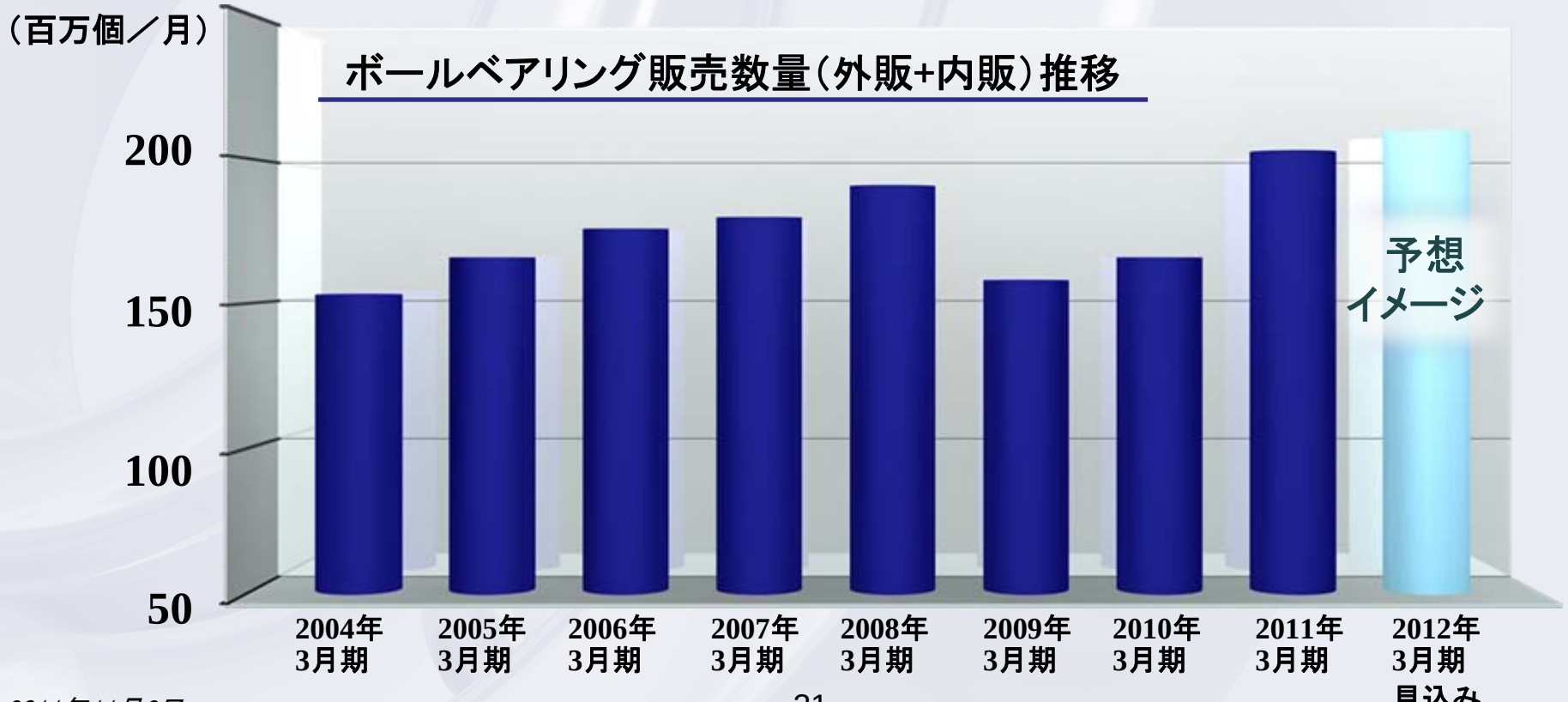
蘇州新工場（中国）
- タブレットPC市場拡大への対応
- 大型受注の獲得

当面の間、工場空きスペースを多目的に転用

ボールベアリング生産販売数量は史上最高水準

世界経済の着実な拡大と共にボールベアリング需要は拡大中

・中国、インド、ブラジルなど新興国販売拠点を強化
・中径サイズ販売の強化



タイのボールベアリング新工場稼働開始

多目的ボールベアリング工場としての展開

■生産製品：ピボット向け、中国市場向け低価格量産品及び中径サイズ
■生産能力：今後2年程度で、月産40百万個程度まで引上げ可能
■稼動開始：2011年10月からスタート



ボールベアリング新工場（タイ　バンパイン）

マイオニック新工場建設

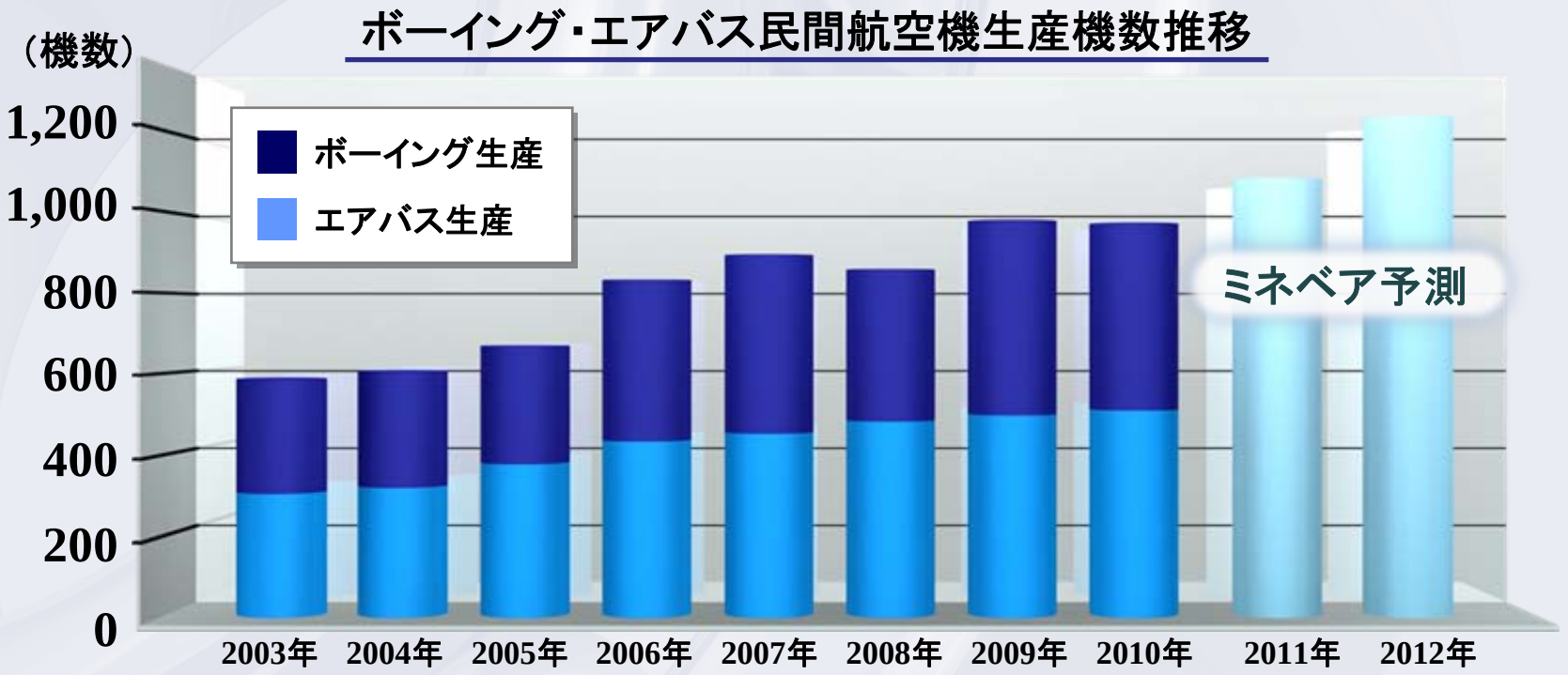
■生産製品：X線撮影装置などの医療機器向けや
　　歯科向けの特殊ベアリングなど
■投資額　：約6億円
■稼働開始：2012年8月予定
■狙い　　：①賃貸工場の生産設備集約・再編による生産効率向上
　　②需要拡大に対応する生産能力拡大
　　③大幅な省エネ効果
　　④3年間で20%の売上増加を見込む



マイオニック新工場（ドイツ　ロイトキルヒ）

航空機用ベアリングの受注好調

航空機受注が増加し、中期的に市場は拡大中
ボーイング787生産も拡大局面に入った



（出所：ボーイング、エアバス、予測はミネベア）

・製品範囲の拡大に取り組む
・製造コスト引下げに向け、タイ・ロッブリ工場の生産能力を拡大へ

タイ・ロッブリでの多目的新工場建設

■建設予定地：タイ　ロッブリ工場
（建設を中止したピボットアッセンブリー工場用地を再利用）
■建屋面積　：19,000㎡
■建屋完成　：2012年1月末予定（通常工期より2カ月短縮）
■生産製品　：既存ロッブリ工場から回転機器部品等生産ラインを移管



■既存ロッブリ工場移管スペースの活用

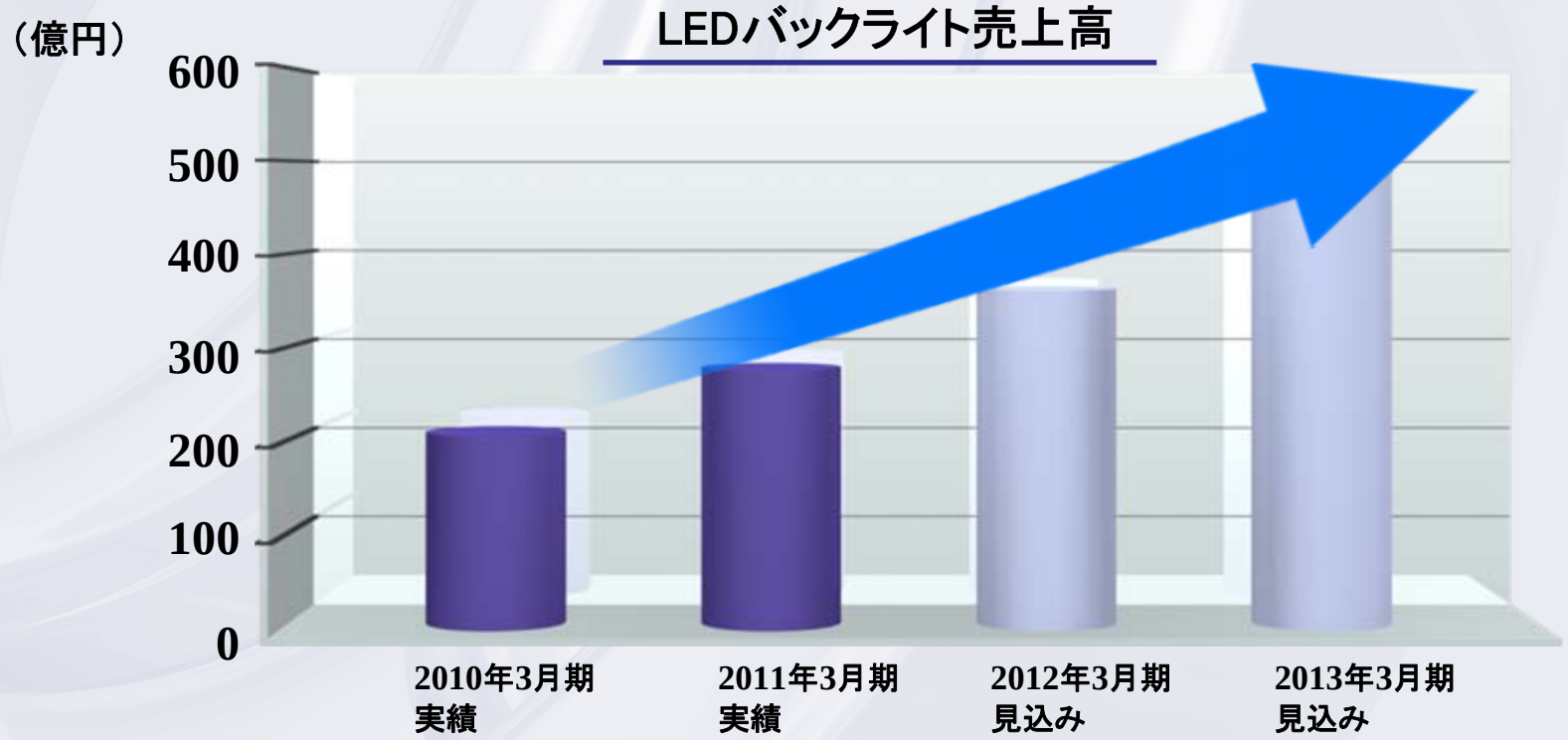
▶ ロッドエンド生産能力を拡大予定
▶ LEDバックライト生産能力も拡大予定

LEDバックライトの成長戦略

スマートフォン市場とタブレットPC市場の成長

当社の得意とする
高細密薄型省エネLEDバックライトへの需要増加

大型受注獲得と生産能力拡大



LEDバックライトの蘇州新工場

４月操業開始の蘇州新工場での増産が進む



回転機器事業の損益改善と業容拡大

カンボジア・モーター工場への生産シフトによる
アジア人件費高騰への対処

レアアース高騰に対応した製品値上げと設計変更

モーター複合製品の開発・販売強化

モーター開発拠点を、中国・深圳に設置

タイ洪水影響から回復後に
HDDスピンドルモーターの利益化

カンボジア・モーター自社新工場建設

アジア人件費高騰への対処

4月にカンボジア仮工場を立上げ

12月完成に向け、カンボジア自社工場の建設中



来期の貢献工場

売上30億円UP

ボールベアリング新工場
（タイ）



売上60億円UP

回転機器新工場
（カンボジア）



5新工場の設置

売上200億円UP

多目的新工場
（タイ）



売上5億円UP

特殊ベアリング新工場
（ドイツ）



売上合計
300億円UP

LEDバックライト新工場
（中国）



HDDスピンドルモーターの利益化

品質強化

歩留まり改善

開発力強化：
7mm厚2．5インチHDD用モーターの納入開始を予定



タイ洪水影響

当社被災部品の代替手配

サプライチェーン混乱の復旧

販売数量増加

販売拠点の拡充

アメリカ



デトロイトに販売拠点を設立へ

ブラジル



４月に現地販売会社を設立

中国



営業拠点の増設と人員増強

新たに成都、武漢、西安に設置し、既存の香港、深圳、上海、大連、北京、蕪湖に加えて9拠点、約170名体制に

インド

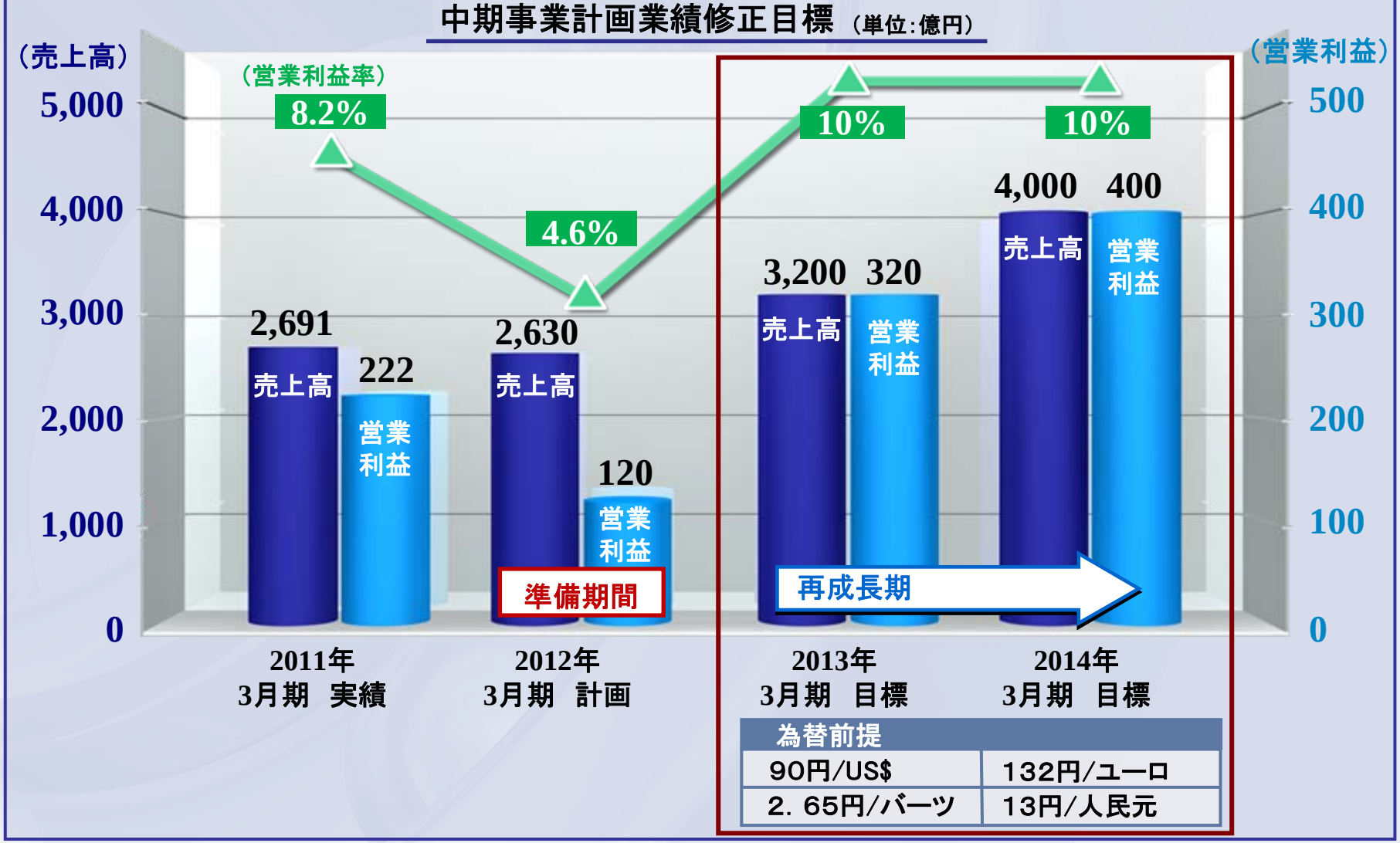


人員増強

バンガロール、チェンナイ、デリー、プネーの4拠点を増強

中期事業計画業績修正目標（今期は踊り場へ）

市場の成長は「停滞」と予想、当初想定目標の達成は1年先送りに



財務戦略

配当方針

配当

12/3期 中間配当 3円/株

12/3期 予想期末配当 4円/株

計年7円/株

配当方針

「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。」

ネット有利子負債、自社株買い、M&A

フリーキャッシュフロー創出重視と財務の健全性維持

・今後とも、財務体質の健全性とキャッシュフロー創出を重視する

・ネット有利子負債は、1,000億円を中心としたゾーンを引き続き目標とする

自己株式戦略の継続

・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行する

M&A戦略

・機械加工品を中心に、強い事業をより強くすることを狙って、積極的なM&A戦略を展開する

・円高のプラス面を活用する

ミネベア株式会社

決算説明会

http://www.minebea.co.jp/

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。
実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。
実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計･開発、製造･販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。
本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段･方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製･変更･転載･転送等を行わないようお願いいたします。